

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和7年11月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	1	3	0	1	3	0	2	2	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0
	繊維工業	1	0	2	0	3	0	2	1	0	0	2	1	0	1	2	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	1	2
	木材・木製品	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	印刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄鋼・金属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一般機器	0	2	1	1	2	0	2	1	0	0	2	1	0	2	1	0	1	2	1	1	1	0	2	1	0	2	1
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸送機器	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	その他																											
小計		4	10	6	2	15	3	8	11	1	0	16	4	3	10	7	0	14	6	2	14	4	0	17	3	0	14	6
非製造業	卸売業	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	小売業	1	3	2	0	6	0	3	3	0	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2
	商店街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	サービス業	1	3	0				1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				1	3	0	0	3	1
	建設業	0	3	1				1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	3	1
	運輸業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	その他	1	1	0				0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	1	1	0	1	1
小計		3	14	3	0	9	0	7	13	0	0	18	2	1	14	5	0	16	4				1	17	2	0	15	5
合計		7	24	9	2	24	3	15	24	1	0	34	6	4	24	12	0	30	10	2	14	4	1	34	5	0	29	11

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和6年11月～令和7年11月)

三重県中小企業団体中央会

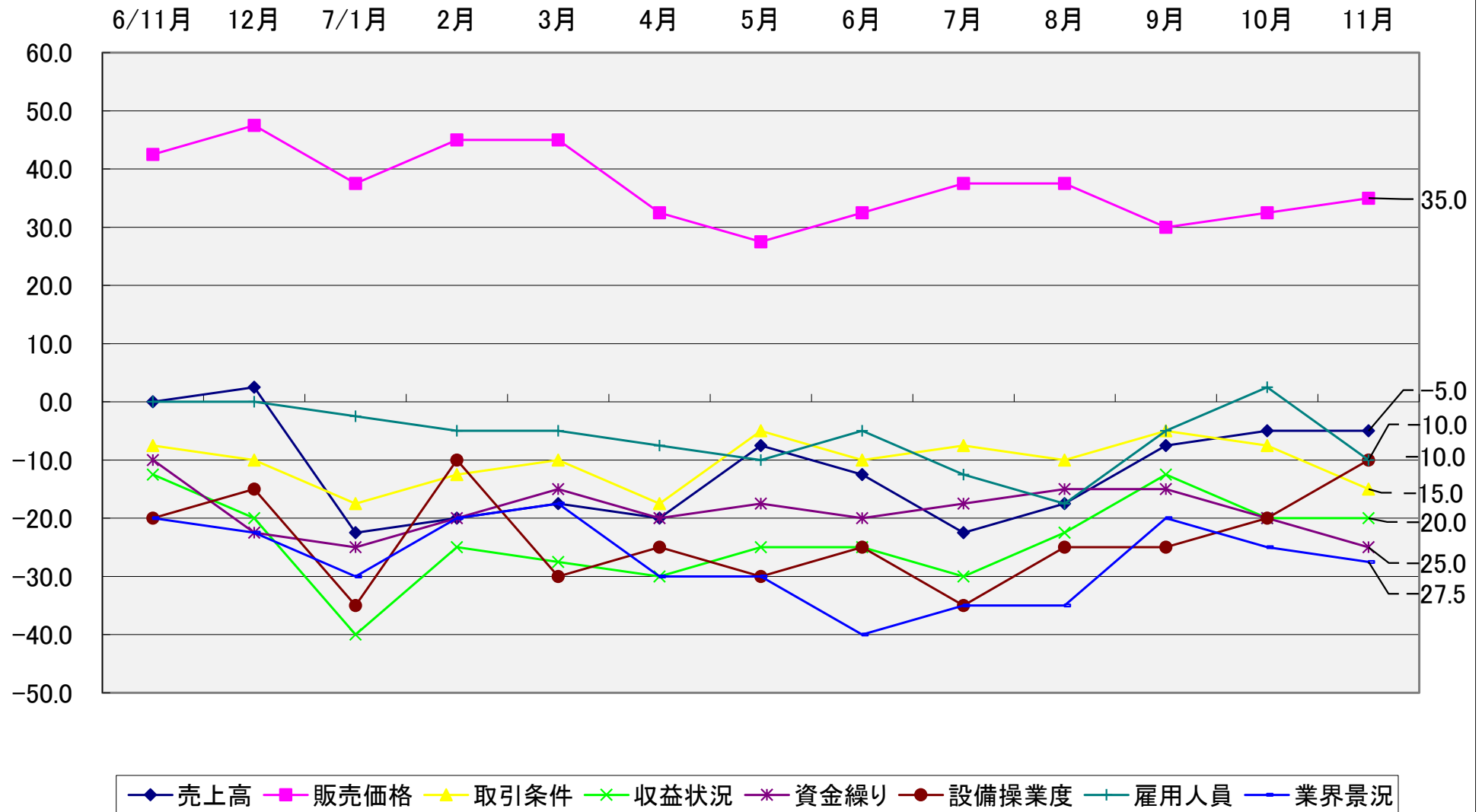
連絡員総数 40 名

	6/11月	12月	7/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	0.0	2.5	-22.5	-20.0	-17.5	-20.0	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0
販売価格	42.5	47.5	37.5	45.0	45.0	32.5	27.5	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	35.0	2.5
取引条件	-7.5	-10.0	-17.5	-12.5	-10.0	-17.5	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-7.5
収益状況	-12.5	-20.0	-40.0	-25.0	-27.5	-30.0	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	0.0
資金繰り	-10.0	-22.5	-25.0	-20.0	-15.0	-20.0	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-5.0
設備操業度	-20.0	-15.0	-35.0	-10.0	-30.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	10.0
雇用人員	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-5.0	-7.5	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-12.5
業界景況	-20.0	-22.5	-30.0	-20.0	-17.5	-30.0	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種		具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりを経営を圧迫する状態が続いている。昨年から米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それに伴い漬物の消費も伸び悩んでいる。一方で夏から秋にかけての高温乾燥の影響により、秋野菜の初期生育に影響が出ており、一部の秋野菜で原料不足となっている。
		醤油味噌	本格的な醤油味噌の仕込みシーズンを迎え、また、年末の需要期を控え、生産は活発になってきたが、全体としては生産量は増えていない。また、国内の物価高、円安による原材料高の傾向は続いている。売上が伸びない中、商品の採算性を重視してスクラップアンドビルドを行い、利益を確保しようとする企業もある。11月21日より三重県の最低賃金が64円アップの1,087円となり、パート雇用が多い会社には今年も人件費の上昇が重荷になってくる。
		他に分類されない食料品 製造業	賃上げによる社会保険料の増加に頭を痛める一年だった。しかし、福利厚生の実施は従業員の雇用存続、継続につながり、会社にとって大事なことだと思っている。税制改正による年末調整の数字に期待している。
		製麺	先週、組合で地域特産めんの伊勢うどんの試食を開催した。伊勢うどんを製造しているししめん（ロングライフめん）の9社より持ち寄って試食を行った。この企画は年に1回開催しているので、製造業者のレベルアップにもつながっている。より安全な商品を作り、お客様に安全で安心な商品づくりを目指して取り組んでいる。7年後の式年遷宮に向けて向上していくように取り組んでいる。
	木材・木製品	木材	建設コストの高騰等で新設住宅着工戸数は依然として不振が続き、国産材製品の荷動きも低調で人件費や配送料等のコスト高騰等もあり、厳しい経営環境が続いている。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。従業員の確保が困難である。
	紙・紙加工品	古紙	11月の仕入れ量は：段ボール・約88±5%位、新聞、チラシ・約90±3%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約89±8%位であった。組合員1社を除き県内組合員の古紙集荷量は前年比大幅ダウンとなった。取引先製紙会社は10月から更なる製品原紙の値上げを打ち出しており、未だ交渉中で新年1月からの交渉成立を目指している。国内株式相場は5万円を超えた月でもあり、ドル円為替レートの乱高下の結果で段ボール古紙の古紙輸出価格は国内古紙価格より安くなったようで雑紙・古紙は国内相場より高くなった。年末年始に向け気ぜわしくなり事故や火事等に気をつける頃となってきたが、古紙や古着の持ち去りやゴミ等の置き去り行為も増加に転じる時期でもあり、より人に優しいより良い社会づくりの為に政治家・政党・関連各所様に法律制定と執行を望んでいる
	印刷	印刷	年賀状印刷の受注について、昨年、郵便価格が大幅に引き上げられたこともあり、昨年と比較してもさらに減少している。また印刷用紙について、メーカーより来年2月に10%以上の値上げとなるアナウンスがあった。生成AIを使った文章・デザインなどが普及するなか、11月に組合員及びその従業員も参加しての生成AI、DXに関連したセミナーを開催した。
	窯業・土石製品	伊賀焼	経済状況がどうなるかわからないのでいい方向に向かうことを期待する。業界としては忙しい時期ではあるが、原材料の高騰による影響はマイナス要因になる。
	鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、総じて堅調な状況である。とくに自動車関連のうちEV関連の受注が好調であり当面同様の状況が続くと見込まれる。
一般機器		四日市市	まだまだ厳しい経営業況が続いているが、短納期の受注が増えているように感じる、以前に比べ忙しい状況が全般に見えるように思う、自動車業界はいまだに設備投資（設備、金型等）は増えていない。今後の自動車業界の動向が上向きになることを期待する。
		津市	自動車関連は部品によって受注が落ちたものと変わらないものが入り混じっているが、全体的にとらえると受注が落ちた部品数が多い。また、今期は新しい金型の注文がほとんどなく、次につながる受注が来ていない。新しい金型がないと2、3年後の売り上げに影響するため見通しは悪い。
		伊勢市	10月と同様に景況感は良くなりつつあると思う。少しずつ注文は増え、売上も増えてきている。人件費の増加も販売価格の値上げと量の増加で改善の傾向にある。自動車部品関連も工作機械関連も収益がわずかであるが良くなった。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	電気機器	鳥羽市	今月も受発注は上方には動かず苦慮している。設備稼働も当然低い。期末に向けて期待している。
	輸送機器	伊勢市	受注は一般機械器具で昨年比から微増し、物量安定により、採算面も前年比で好転し、利益が計上できている。しかし、全体的でなく、製品ごとの差が大きく、少量多品種での対応は増加、利益率は改善していない。自動車部品は昨年比同程度で、若干の安定がみられる。また、新規部品で売上増加している面もあるが、既存品は微減、今後減少傾向は変わらない。
	小売業	青果	（野菜前半）高値の品目が多い中、ピーマンがやや値下がりしている。茨城産サツマイモも順調に入荷している。長野・茨城産のハクサイは価格も入荷も落ち着いている。トマト・タマネギ・ジャガイモ等の高値が続いている。特に、ミニトマト・トマトは気温の低下で色づきが遅れ入荷が減り、高値になっている。（野菜後半）全体的に平年並みの価格になった。旬のホウレンソウが地場産を中心に入荷が増えお買い得に、レタス、ハクサイもお手頃価格となっている。シタケ・白ネギは順調に入荷しており、キュウリ・トマトも値下がり傾向にある。タマネギ・ジャガイモは高値が続く見込みである。（果物前半）みかんの出荷が県内産のほか、各産地でも本格化してきた。今年は雨が少なかった影響でしっかり甘味があり、昼夜の気温差で色づきも進んで前年並みの出荷量を見込んでいる。リンゴ（サンふじ）が長野産に加え青森産も始まる。柿も県内産次郎柿は終盤でお買い得になっている。（果物後半）県内産イチゴの入荷も増えてきたが、価格は昨年並みになっている。県内産みかんを中心に愛知、静岡、和歌山産の品種が贈答用として引き合いが強い。
		自転車	スポーツの秋、10月下旬には鈴鹿山麓リサーチパークを中心に四日市サイクルスポーツフェスティバル全国ジュニア自転車競技大会が開催された。また、11月に入っても様々なイベントがあり、それに参加した。米国の小売業界で広まった11月下旬にかけての大安売り「ブラックフライデー」が年末商戦の始まりの企画として定着し、中部地方の小売業でも広まっている。ブランド衣料や食品は日替わりで半額になり、オンラインショップでもスニーカーや自転車が最大50%引きになることもあり、これでは町の自転車店では到底太刀打ちできない状況である。月末には各メーカーの2026年度の通学車のほとんどが入荷OKな状態だが、各ショップ及びユーザーの反応はまだ鈍く、早期展示も控えている状況を見るとますます不安を感じる。
		電器	気候の変化で寒暖差が大きくなって落ち着いた感じもなく冬年末へ向けての準備にかかる状態である。各補助金や助成金関連が終了に向けての駆け込みがあるようで、省エネ家電購入キャンペーンも順調に推移している。エアコン関連が落ち着いたが、映像関連が販売減少しているように思える。民放の4K放送撤退の話題は衝撃的だった。
		石油	11月25日ガソリンの暫定税率を12月31日に廃止する法案が、衆議院本会議で全会一致で可決され参議院に送られた。ガソリンの暫定税率をめぐっては、自民党や立憲民主党などの与野党6党が12月31日に廃止することで合意したことを受け、野党がすでに提出していた法案の施行日などが修正された。軽油引取税の暫定税率を令和8年4月に廃止することなども盛り込まれている。参議院での審議を経て、28日にも成立する見込みとなっている。（11月28日参議院で可決成立）現在政府はすでに、廃止までの移行期間として、ガソリン価格を引き下げるための補助金を段階的に拡充する措置をとっている。ガソリンの暫定税率は1974年の第一次石油危機をきっかけに導入された。当初は2年間の臨時的な措置とされていたが、道路整備のための財源確保を目的として延長が繰り返され、実質的に恒久化されてきた。
		スポーツ	毎年この時期になると冬物商戦が始まるが、急に寒くなったせいか注文が各メーカーに集中して品切れが続出して苦労している。
	商店街	熊野市	この地方では少なかった外国人旅行客が以前より徐々にではあるが増加しているようだ。特に欧米からの旅行客が多く、熊野古道を中心に長期滞在者が多く見受けられる。その傾向は和歌山県南部の新宮や本宮、那智勝浦等の熊野三山地域にさらに多くの集客が見受けられるようだ。今後の課題としては体験メニューなどを中心としたインバウンド向けの集客事業が必要と感じる。
	サービス業	旅館	11月は8月に次ぐ繁忙期であるのと、万博の影響も無くなり、グループ客や小団体旅行客も出だしていい傾向になってきた。3連休も天候に恵まれ、各地とも多くの旅行者で賑わった。対前年同月比130%、2019年度同月比85%程度である。
		警備	例年通り順調に稼働している。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
建設業	総合工事業	令和7年10月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて微増となっている。内訳でみると、市町発注の増が要因となっている。
	内装工事業	11月は対前年同月比で8月以来マイナスとなった。物価高による原材料費の高騰が原因で買い控えが建築業界でも進んでおり、業界の景況は非常に厳しい状況である。政策の内需喚起が待たれる。
	水道工事業（亀山市）	亀山市からの量水器の取替えも予定数量を10月に完了した。また、漏水の方も件数が減少傾向にある。11月には一部地域で水道水の濁り水が発生し、濁り水の清掃や漏水箇所の調査を水道組合として対応した。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品製造業	社会保険や税が変わりつつあります。各種情報や早めの対処方法があればお知らせください。
食料品	製麺	来年度の夏の暑い環境に向けて、組合を挙げて食虫同区対策など暑さに対応した販売の取組みを周知しながら行っていきたい。
一般機器	四日市市	ガソリン価格の暫定税率廃止は非常に歓迎する。経営状況が改善してから、賃金アップになるような方向で進むとよい、まだまだ中小企業には厳しい状況が続いている。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう支援をよろしくお願いいたします。
サービス業	旅館	売上は多少好転してきた感がありますが、諸物価の高騰等により、経常利益を圧迫しているため、更なる金融支援が必要です。